

支所だより

東予・丹原・小松の各総合支所管内での、身近な出来事や話題などを紹介するコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

地域環境に配慮したほ場整備に向けて

～自然との調和をめざして～

現在、中山川左岸を中心とする道前平野地域では、平成28年度の国営ほ場整備の事業着手に向けて、各種調査・検討を行っています。

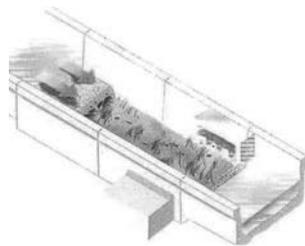
ところで、ほ場整備では、どの部分にコンクリートが使用されているか、皆さんはご存じでしょうか。

コンクリートが使われているのは、水路の水が流れる部分だけです。水路でも水に触れない上の部分は土で仕上げますが、それでも水辺の生き物や植物にとっては、生息しづらい環境となってしまいます。

そこで、ほ場整備に当たっては「環境調査」を実施して、生物の生息状況等を確認します。そして、貴重

な生物の生息地となっている場合には、例えば下図のように、コンクリート水路についても、水路の底を一部下げて、流れの緩やかなところを作ります。そこに土がたまり、植物が生えることで、そこをすみかとする小魚などの小さな生き物が住めるようになります。そのような地域環境に配慮した施設整備を現在、検討しています。

ただし、水路の泥上げ等は、高齢者の多い農家にとって大きな負担となってしまいますので、地域ぐるみで取り組んでいただくよう皆さんのご理解とご協力をお願いします。



環境に配慮した水路

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

水は限りある大切な資源です

～除草作業を通して～

水道は、健康で文化的な生活や社会経済活動を支える必要不可欠なライフラインです。丹原地区には水道水の源となる水源地が7カ所、そしてきれいな水を貯えることのできる配水タンクが大小合わせて7カ所それぞれ点在しています。

これらの水道施設を適正に管理することで、市民の皆さんに安全安心な水道水を届けることができます。

しかし、これらの施設は設置してから約20年経過し、



水道業者組合による除草作業

敷地内には毎年雑草が生い茂る状態となっています。

そこで今回、丹原町水道業者組合の皆さんに草刈り作業をしていただきました。

この奉仕作業は定期的に行っており、越智淳二組合長は「水道の大切さについて、市民の皆さんに理解を深めていただきたい」との思いで、生い茂った雑草などを刈り取っているそうです。

これから水道水の需要もピークを迎えます。水は大自然の恵みによって得られる、限りある大切な資源ですので、一人ひとりが水を大切に、日頃から節水を心がけましょう。



2,200 m³の水道水を貯水できる愛の山低区排水池

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

昔も今も町のシンボル

～小松橋～

市道中央線（金毘羅街道として多くの参詣客等に利用された旧街道）の小松川にかかる小松橋は、夜になると高さ3メートル近くの親柱（4カ所）に明かりが灯され昔の風情を醸し出すモダンな橋です。

この小松橋は、全長28.6メートル、幅員5メートルの華麗な装飾がポイントの鉄筋コンクリート橋で、当時の土木技術の高さと職人



市道中央線にかかる小松橋

の思いをうかがい知ることができます。

小松橋が完成したのは1926（大正15）年2月。この年の数カ月後に昭和天皇が即位されたこともあり、御大典橋とも呼ばれ親しまれていました。親柱の照明に明かりが灯された時、地域の人々は新たな時代の到来を感じずにはいられなかったのではないのでしょうか。

大正・昭和・平成と時代の移り変わりとともに地域を見守り、支え続けてきた小松橋。小松町のシンボルとして、今後も人々の生活を静かに見守り続けていくことでしょう。



町のシンボルとして親しまれている親柱